人間ドック新聞

発行者
なまえ 尾野珠来
立岩小学校 五年 二組

人間ドックって何だろう?

人間ドックとは「自覚症状のない病気」や「将来病気を引き起こす可能性のある体の異常」を早期に発見し、早期治りょうや予防を行うための総合的な検査です。

人間ドックでの検査項目は、

・身体計測
・呼吸機能
・心電図
・肝機能
・視力
・脳ドック
・がん検診
・血液一般

などがあります。

40代以上の人は、とくに受けたほうがいいです。

図1人間ドックを受けた人の年れい

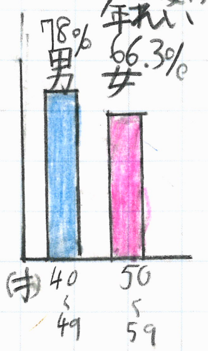
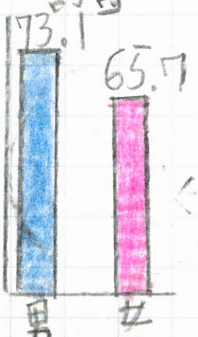


図2人間ドックを受けている人の割合



「2023年厚生労働省より」
図1、図2ふくめて

病気の予防の大切さ

高れい化社会の今、健康寿命を伸ばすことが大切です。病気を予防することで、人々のQOL（生活の質）を高めることができます。

それに、なってしまった後では、もうおそい場合もあるので、自分の体のことを知ってちゃんと予防することが大切です。

検診のよさ

①早く発見できる

早く病気を見つけることで治りょうがスムーズに！

②安心できる

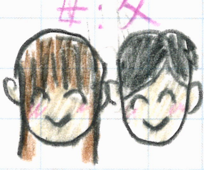
何も異常がないことを確認できるとホッとできる！

人間ドックで早期発見できた母。

私の母は、夏に人間ドックを受けました。そこで異常が見つかり、精みつ検査を受け、乳がんと診断されました。検診でないと分からないくらい早期だったのですぐに治りょうを受けることができました。

母は、「みつかってラッキー。はやくみつけられてよかった😊」と元気です。

父も、「今年は受けよう！」と決めているようです。



編集後記

今回、人間ドックについて調べて検診の大切さや、病気予防の大切さが分かりました。自分もあるていどの年になったら検診を受けたいです。